

シンポジウム

文化による地方創生——関西からの展望

～文化庁の関西・京都への全面的な移転を見据えて～

2017年11月2日(木)

午後1時45分～4時15分

大阪市中央公会堂 大集会室

(大阪市北区中之島)

【入場無料】定員…500名

(事前申込制)*申込方法は裏面参照。

関西には、歴史に裏打ちされた
伝統文化・芸能・祭礼が数多く存在します。
文化庁の関西移転を契機に、
文化で日本を元気にするため、
関西が果たす役割を展望します。

●プログラム

・オープニング…落語「立体西遊記」 笑福亭鶴笑

・挨拶…門川大作(京都市長)

・講演…「文化庁の京都移転と地域文化創生本部の活動」

松坂浩史(文化庁地域文化創生本部事務局長)

・パネルディスカッション…

「文化による地方創生——関西からの展望」

◇パネリスト

奥野卓司(関西学院大学教授、山階鳥類研究所所長)

杉本節子(奈良屋記念杉本家保存会常務理事兼事務局長、料理研究家)

角 和夫(関西経済連合会副会長、関西観光本部理事、
阪急阪神ホールディングス代表取締役会長グループCEO)

高島幸次(大阪大学招聘教授、大阪天満宮文化研究所研究員)

◇コーディネーター

佐々木洋三(関西・大阪21世紀協会専務理事)

伊藤若冲「群鶏図」(部分) 細見美術館所蔵

写実と想像を巧みに融合させた「奇想の画家」、伊藤若冲(1716～1800)。京都生まれの若冲が世界から高く評価されたのは、大坂商人、木村兼葎堂(けんかどう)らの支援もあったからです。兼葎堂は、瀬戸内を介して、海外の鶏などの標本・絵図を手に入れていたとも言われています。

京阪を結ぶ二人の交流を、関西文化の総合力を示す象徴として掲出しました。

主催：京都府 京都市 京都商工会議所

協力：文化庁地域文化創生本部 (公財) 関西・大阪21世紀協会

後援：関西広域連合 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 徳島県 大阪市 堺市 神戸市 大阪商工会議所

(公社) 関西経済連合会 (一社) 関西経済同友会 (一財) 関西観光本部 京都経営者協会 (一社) 京都経済同友会

(公社) 京都工業会 京都府中小企業団体中央会 関西プレスクラブ 京都新聞 (※順不同、一部予定を含む)

